

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:		レベル	14
サポートクラス	バーサーカー	Lv.1:	バーサーカー	性別	女だと思う
称号クラス				年齢	覚えてない
種族	ヒューリン			境遇	記憶喪失
出自(効果)	騎士			目標	命令

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	26	25	22	8	9	10	9
ボーナス	8	8	7	2	3	3	3
クラス修正	2	3	2	0	0	0	1
他修正							
能力値	10	11	9	2	3	3	4

HP	150
MP	82
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ギ口チンアックス	至近	-2	30	0	0	0	-2	0
左手									
頭部	闘士のバンダナ		1			3			-1
胴部	狂撃の鎧					5			
補助	狂撃の籠手+ (テンパ-) 《マジックコーディング》《防具職人》					10	5		-1
装身具	狂撃の角								
能力値			11	0	9	0	3	12	15
スキル				20			5	2	
その他			1	1	1	1			1
総計(右)			11	51					
総計(左)					10	19	13	12	14
総計(両)									m
ダイス数			5 d	4 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	11			11	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
異次元バック	グレートMPポーション
ベルトポーチ	
ポーションホルダー	
冒険者セット	
ハイMPポーション*10	
ハイHPポーション*5	武器強化
毒消し*3	防具強化
万能薬*3	ハイMPポーション累積
戦士の環	
EXMPポーション	
狂戦士の鎖	

現在重量: 29
 最大重量: 64
 所持金: 245794
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
バッシュ	3	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
ストラグルクラッシュ	1	10	メジャー	-	自身	自動成功		
効果: コストを消費せず、対象を単体にして《バッシュ》による武器攻撃を2回行う。さらに2回目の《バッシュ》による攻撃のダメージに+2Dする。ただし同じ対象に2回攻撃しなければならない。								
	1							
効果:								
	1							
効果:								
	1							
効果:								
スマッシュ	★	5	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: メインプロセスの終了時まで白兵攻撃のダメージに+【筋力*2】する。								
インビジブルアタック	★	3	マイナー	-	自身	自動成功	1 s n SL	
効果: そのメインプロセスで行う武器攻撃の命中判定に+1Dする								
バーサーク	5	3	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 武器攻撃のダメージに+「SL*3」し、リアクションの判定に-1D。マイナーで解除								
ソウルヒート	6	-	《バーサーク》	-	自身	-		
効果: [狂戦士化 (SL+1)]を受ける。								
	1							
効果:								
プロボック	2	4	セットアップ	10m	単体	筋力判定		
効果: 対象の【精神】と対決を行う。また、この対決の達成値に+[SL*2]する。この対決に勝利した場合対象に【逆上】を与える。								
	1							
効果:								
	1							
効果:								
ボルテクスアタック	★	-	効果参照	-	自身	自動成功	1S1	
効果: 行う武器攻撃の対象を「単体」に変更しダメージにCL×10足す								

『……それは命令ですか……?』

小柄で病的なまでに白い肌をした少女。虚ろな瞳と冷静で淡々とした喋り方からは感情の起伏らしいものがほとんど感じられない。本人曰く感情の表現するのが苦手なだけとのことと感情が無いわけではないらしい。

生まれてからの記憶が無く、黒円卓に参入した頃からしか記憶が無いので自分の過去は他人から聞かされたものしか知らない。

日く半ば野垂れ死にしかけていた所を持ち前の怪力と戦闘技術を見込まれて黒円卓へと推された『らしい』

日く自分の両親も同じように騎士だった『らしい』

日く両親は今では亡くなっている『らしい』

ただ、空っぽの自分を埋めるかのように下される命令を、任務を忠実に実行するだけ。それが彼女にとっての当たり前なこと。

